

会社概要

商号	アイザワ証券株式会社
代表者	代表取締役社長 藍澤 卓弥
本店	東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング
創業年月日	1918(大正7)年7月7日 創業105年
資本金	30億円
国内店舗数	45店舗(2023年9月4日現在)
従業員数	804名(2023年3月末現在)
上場証券取引所	東京証券取引所/プライム市場 ※アイザワ証券Gとして
経営理念	より多くの人に証券投資を通じより豊かな生活を提供する
目指すビジョン	「豊かな生活=将来への希望」を具体的な形とし、お客様に希望を届ける Hope Courier(ホープクーリエ:希望の宅配人)になる
ミッション	資産形成を通じて、中間層(資産形成層)の方々を生活の不安から解放し、希望にあふれるこの国の未来を彼らが創造するための後押しをする



アイザワ証券の取り組み

当社は地域密着型の証券会社として

①教育機関②金融機関③市民団体

と提携を組み、証券会社の垣根を超えた活動を行っております。

その功績を認められ、証券会社初の**大臣表賞**をいただくことができました。



芦屋支店 × 地域社会

地域密着の証券会社を目指して...

アイザワ証券 ×



当社は芦屋市と**地域連携協定**を結んでいます。

協定締結の様子



左から吉谷藍澤証券株式会社支店長・山中市町 ※芦屋市HPより引用

活動の概要

①教育機関との連携

神戸市、芦屋市、西宮市との提携
公立高校での金融教育授業実施、職業体験として生徒受け入れ
金融リテラシー向上の活動

②金融機関との連携

第一生命保険株式会社芦屋営業オフィスとの連携
より多くのお客様のニーズに応えるためそれぞれの得意分野に関するセミナーを定期的に実施

③市民団体との連携

芦屋市の市民団体ポイエシスとの連携
公園や自治体の集会所等でのマルシェ参加、芦屋オープンガーデンへの参加
地域活性化のための活動

活動写真

芦屋市、西宮市、神戸市の学校での金融授業実施（教育機関連携）



第一生命芦屋営業オフィスにてセミナー実施（金融機関連携）



NISA、iDeCo について説明

地域団体主催のイベント参加（市民団体連携）



活動のきっかけ

1. 当社の問題認識

政府の大命題「貯蓄から資産形成(投資)へ」が進まぬ事由

- ①:「お客様のために・・・」
⇒お客様の抱える課題・悩みの解決
- ②:「地域から必要とされる証券会社」へ
⇒証券会社のレピュテーション向上
- ③:金融・証券リテラシーの向上
⇒証券会社としての使命

・低経済成長
・低金利
・年金問題
・認知症問題 etc.

「クロスボーダーソリューション」(ロゴ付)を商標登録(特許庁)
(特許庁商標登録第5978805号)



2. 当社の処方箋

- (1) 垣根を超えて地域金融機関や教育機関との提携/連携を軸(レピュテーション高)に、
- (2) 先方が提供出来ない、業務範囲や県境、交流範囲を超えたサービス＝
「クロスボーダーソリューション」(特許庁商標登録第5978805号)をご提供し、
提携/連携先との相互補完を実現しながらお客様、地域社会に貢献していく

これらの活動の根底には、

「余裕ができれば、地域創生支援を行うというのはしっくりこない。地域創生への取り組みは営業させて載っていることへのいわば配当だ。配当できない利益水準であるならその営業自体に価値がない、というふうに考えている。」

という前社長の言葉があります。



活動の成果

- ・当初は芦屋市内の中学校のみの金融教育活動であったが、回数を重ねていくことで西宮市の中学校からも依頼を受け、2023年は**計6校**から中学生を受け入れ。
- ・当社の知名度はまだまだ低い。しかしポイエシスマルシェや芦屋オープンガーデンの実施等により、以前よりも確実に**知名度は向上**。
- ・芦屋市長にも当社の取り組みについて認知、激励いただき、市を巻き込んだ活動になりつつある。
- ・第一生命芦屋営業オフィスとの連携で、保険と証券についての知識共有、より多くのお客様のニーズに応えることが可能に。